

バイカツツジを探そう！

Rhododendron semibarbatum Maxim.

バイカツツジ

[ツツジ科]

バイカツツジは、北海道南部・本州・四国・九州に分布する落葉低木です。四国では稀であり、香川県には分布していません。高知県と徳島県では絶滅危惧種に指定されています。全国的な分布において、フォッサマグナおよび九州～屋久島間を境界として、花被片の模様（ブロッチ）に変異があることが知られています。現在、高知県内で確認されているのは、大川村や大豊町などの山間部に3箇所のみです。かつて生育記録があった馬路村魚梁瀬、本山町沢ヶ内、土佐山田町角茂谷などの産地は、森林の遷移や道路工事によって消失したようです。さらに現在は、ニホンジカからの深刻な食害を受け、極めて危機的な状況にあります。分布実態の把握のため、皆様からの生育情報のご提供を募集します。

◆ 募集する情報

- 画像 1. 生育地の環境が分かる「引き」の画像
 - 2. 植物体全体および花がついている枝全体の画像
 - 3. 花と葉の拡大画像
(※花被片の模様が識別できるもの)
- 生育地点のGPS情報（緯度・経度）

見つけたかも！
と思ったら、
まず写真を
お送りください

※枝を強剪定すると枯れてしまうことがある繊細な植物です。標本は採集せず、まずは発見の一報を事務局までお送りください。



◆ 発見のヒント

遷移によって林が暗くなることで個体数が減少しています。加えて、ニホンジカの食害で実生更新が阻害され、減少に拍車がかかっています。

- ・生育環境： 県内の標高約900～1500mの山地
- ・開花時期： 6月～7月（梅雨時期）
- ・特徴： 新葉の下側で下向きに開花するため、とても視認しにくいです。見逃さないよう、葉の裏側を注視して探してみてください。

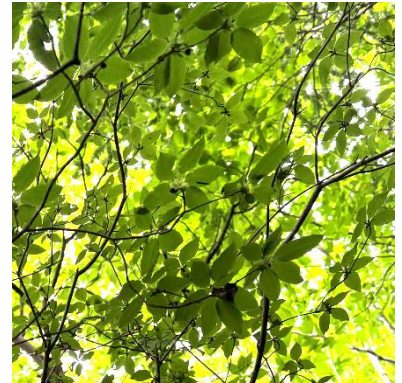
バイカツツジの花は小型で目立たず、慣れていないと発見が難しい植物です。以下の形態的特徴を参考に探索をお願いします。新産地の発見をお待ちしております。



葉は枝先でまとまっています。



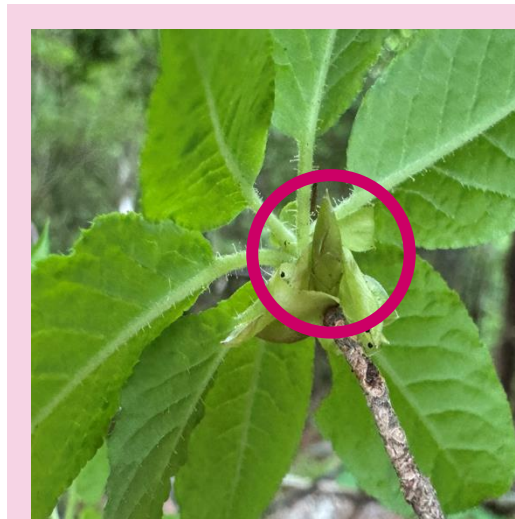
若枝や葉柄には長い開出毛がみられます。



見上げるとこんな感じ。



実生を見つけたら近くにだいたい親株があります。



新しく伸びた枝の葉腋から見えるバイカツツジの蕾

バイカツツジはバイカツツジ亜属に属し、愛媛県固有のトキワバイカツツジ（トキワバイカツツジ亜属）とは近縁ではありません。しかし、両種には他のツツジ属植物とは異なり、今年伸びた新枝の葉腋に花がつくという共通点があります。

	一般的なツツジ属植物	バイカツツジ	トキワバイカツツジ
葉の性質	落葉・常緑	落葉性	常緑性
花の位置	枝先(頂芽)	伸びた枝先の下 の葉腋	伸びた枝先の下 の葉腋
花の香り	ほとんど無し	ほとんど無し	ある